

私は現在、奨学金を借りながら大学に通っています。大学に進学するためには多くの学費が必要であり、家庭の負担だけではまかなえない部分を奨学金に助けていただいています。そのおかげで、経済的な理由で学びをあきらめず、自分の興味のある分野に挑戦できていることをありがたく思っています。学生生活は決して楽なものではありません。授業や課題に追われる日々の中で、自由な時間をどう使うかが大切になります。私は、アルバイトはしていませんが、その分、学業や自主的な学びに集中することを心がけています。授業で学んだことを復習したり、関連する書籍を読んだりすることで理解を深めています。また、レポートやプレゼンテーションの課題を通して、自分の考えを表現する力も少しずつ鍛えられていると感じます。奨学金は将来返済しなければならない責任を伴いますが、それを単なる負担とは考えていません。むしろ「自分の将来に投資していただいているもの」と受け止めています。その期待に応えるためにも、大学でできる限り学びを深め、社会に出たときには役立つ人間になりたいと考えています。

これから大学に進学する後輩たちに伝えたいのは、「時間を大切にしてほしい」ということです。大学は自由な時間が増えますが、その使い方によって成長の度合いが大きく変わります。授業をおろそかにせず、関心を持ったことは自分で調べて学ぶ姿勢を持てば、知識は大きく広がります。また、ゼミやサークル、友人との交流なども貴重な経験になります。奨学金を利用する人にとっては、返済の責任を意識して生活を計画的に送ることも大切です。学生のうちからお金や時間の使い方を意識することは、社会に出てから必ず役に立ちます。大学生活は二度とない貴重な時間です。悩みや不安もありますが、それ以上に多くの学びと出会いがあります。どうか一日一日を大切に過ごし、自分の将来へとつなげていってほしいと思います。